News Release

公益財団法人
不動産流通推進センター

2026年11月 25 日

新刊案内

累計８万件超・年間約 4,800 件の電話相談から厳選した 40 事例を収録！
『不動産相談事例選集Ⅴ』発刊



（公財）不動産流通推進センターは、『不動産相談事例選集Ⅴ　安心・安全な不動産取引のために』を発刊いたしました。

当センターでは平成 15 年度の相談事業開始以来、累計 8 万件を超える不動産取引に関する電話相談を受け付けており、直近 5 年間も年間約 4,800 件の相談が寄せられています。

相談者の約 6 割を宅地建物取引業者が占め、内容の約 9 割が売買および賃貸借に関する実務上の課題です。本書は、こうした豊富な相談実績の中から宅地建物取引業者の皆様にとって特に参考となる事例を厳選し、売買編 20 事例・賃貸借編 20 事例の計 40 事例を収録したもので、シリーズ 5 冊目の選集となります。

日々の媒介業務や賃貸管理業務の現場ですぐに活用いただけるほか、社内研修の教材としても幅広くご利用いただける一冊です。

不動産流通推進センターホームページ
https://www.retpc.jp/

＜ニュースリリース問い合わせ先＞
公益財団法人 不動産流通推進センター
事業推進室　ＴＥＬ：03-5843-2075

■『不動産相談事例選集Ⅴ』の特長

・各事例は「事例の要点」「事実関係」「Q＆A とその理由」「参照条文・参照裁判例」という流れで構成されており、事例の内容を理解しやすいようにまとめています。

・新設の「実務上のアドバイスと今後の対応」では、顧客への説明の仕方や対応手順、同種トラブルの予防策まで、宅建業者の実務に即して具体的に解説しています。

・各事例の末尾には「本事例における留意点」を掲載し、事例を判断する上でのポイントを補足しています。

・防犯カメラの設置、低廉な空家等の媒介報酬の特例、外国語に翻訳した契約書、フリーレント特約、退去時のハウスクリーニング費用など、近年相談が増えているテーマも幅広く取り上げています。

■書籍概要

・書名：不動産相談事例選集Ⅴ　安心・安全な不動産取引のために

・監修：弁護士　大川　隆之（深沢綜合法律事務所）

・発刊日：2026 年 11 月 24 日

・価格：1,200 円（税込）

・仕様：B5判／259 ページ

・購入先 URL：https://www.bookpc.jp/Order/#/Publication/PublicationDetail/288

不動産流通推進センター
刊行物一覧

■主な収録事例（抜粋）

【売買編】

・自宅玄関先に道路に向けた防犯カメラの設置は許されるか

・低廉な空家等の売買等の媒介報酬の特例

・メールにより不動産の購入申込みをした場合のクーリング・オフ適用の有無

・外国人が契約当事者の売買契約を外国語に翻訳した契約書で行うことの是非

・配水管の地中埋設及び塀の基礎部分の越境は契約不適合責任に該当するか

【賃貸借編】

・賃貸人が他室と異なる高い賃料であることを賃借人に告げずに賃貸借契約を締結することは、消費者契約法に違反するか

・賃借人の滞納賃料を保証会社が代位弁済した場合、賃貸借契約の賃借人の債務不履行は解消されるか

・定期建物賃貸借契約の期間満了後の終了通知の有効性

・退去時のハウスクリーニング費用を賃借人負担とすることの妥当性と賃貸人の賃借人に対する実施報告の要否

＜ニュースリリース問い合わせ先＞
公益財団法人　不動産流通推進センター
事業推進室　ＴＥＬ：03-5843-2075